

法曹コースの紹介

法曹コースから法曹（裁判官・検察官・弁護士）への第一歩を踏み出す



法曹コースとは

法曹(裁判官・検察官・弁護士)を目指す方が大学の学部段階から法曹になるための教育を受けることができるコース(課程)です。

主に法曹を養成する法科大学院との連携協力のもとで、体系的・一貫的な学修ができるコースです。大学を3年で早期卒業して、法科大学院(既修者コース:2年)に進学し、法曹となることを目指します。

法曹とは裁判官・検察官・弁護士を示す総称

【裁判官の主な仕事】

裁判官は、司法権の担い手として、憲法、法律と良心に従って裁判を行い、社会に生じた法的な紛争を解決します。裁判官が扱う事件は、人と人との間における権利の争いについて判断する民事事件や、罪を犯したとされる人について犯罪が成立するかを判断する刑事事件などがあります。

【検察官の主な仕事】

検察官は、刑事事件について、捜査及び起訴・不起訴の処分を行い、裁判所に法の正当な適用を請求し、裁判の執行を指揮監督するなどの権限をもっているほか、公益の代表者として民法等各種の法律により数多くの権限が与えられています。

【弁護士の主な仕事】

弁護士は、社会の中で起こる様々なトラブルを解決します。紛争に巻き込まれた人の権利を守るため、代理人として交渉や裁判を行ったり、犯罪をしたと疑われる人が適切な手続を受けられるように弁護するなどの活動を通して、基本的人権を擁護し、社会正義の実現のために活動します。

KEY WORD

「法科大学院」

法科大学院は、「法曹(弁護士、検察官、裁判官)養成を担うプロフェッショナル・スクール」です。質の高い法律家を養成するために2004年(平成16年)4月に創設されました。法科大学院では、双方向の授業や実務教育など特色ある科目が展開され、研究者教員と実務家教員により、理論と実務の両面から法曹に必要な知識・能力・素養等を身につけることができます。

KEY WORD

「司法試験」

法曹となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を備えているかどうかを判定する国家試験です。法科大学院を修了すると、その受験資格が与えられます。なお、令和5年司法試験より、法科大学院在学中(最終年次)でも司法試験の受験が可能となります。

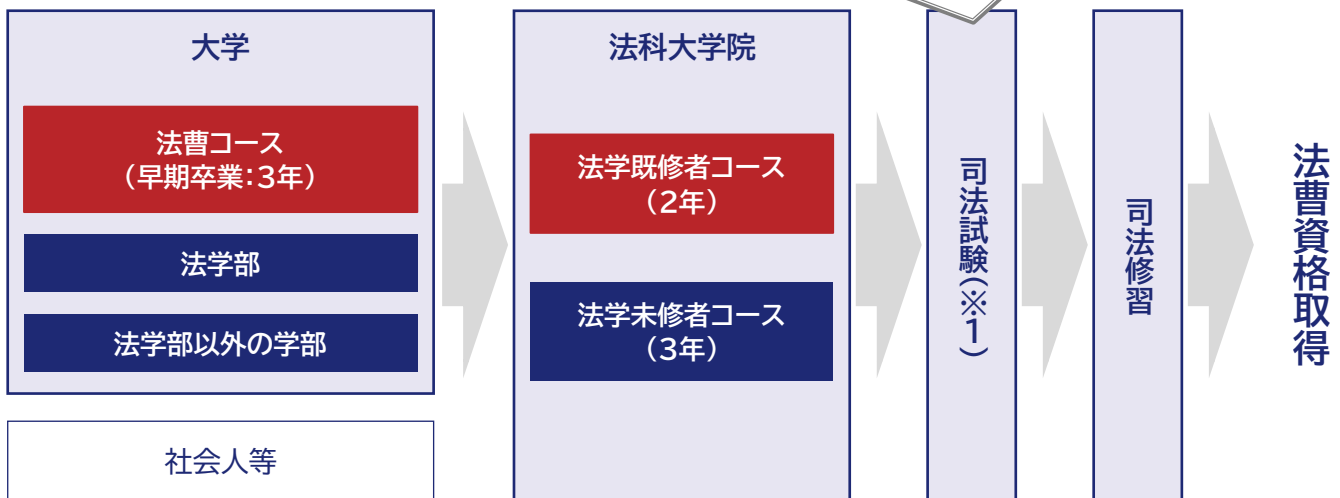
KEY WORD

「司法修習」

司法修習は、法科大学院で学んだ法理論教育及び実務の基礎的素養を前提として、法律実務に関する知識・技術と、高い職業意識や倫理観等を身につけます。最終試験(司法修習生考試)に合格することにより、判事補、検事又は弁護士となる資格が与えられます。

法曹コース修了から法曹になるまでのルート例

💡 法科大学院修了生の7割以上が合格(※2)



※1 令和5年司法試験より、法科大学院在学中(最終年次)に司法試験の受験が可能

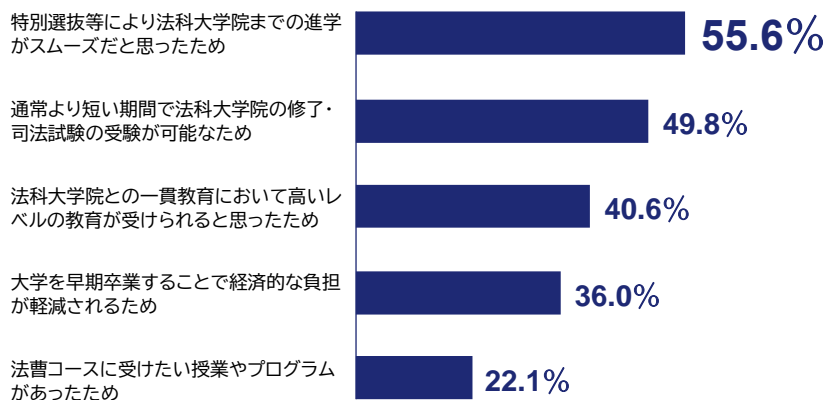
※2 平成29年度法科大学院修了生の累積合格率(法科大学院修了後5年以内の司法試験合格率)

在学生の声

法曹コース在学生 633 名にアンケートを実施しました。

なぜ法曹コースを志望したの？

法曹コースへの志望理由



POINT

大学を3年で卒業し、連携法科大学院(法曹コースと協定を結んだ法科大学院)の特別選抜で入学できるなど、スムーズな進学や学ぶ時間と費用が効率的である点が法曹コースの魅力の一つです。各大学の法曹コースの特色もしっかり調べて自分にあった法曹コースを見つけてください。

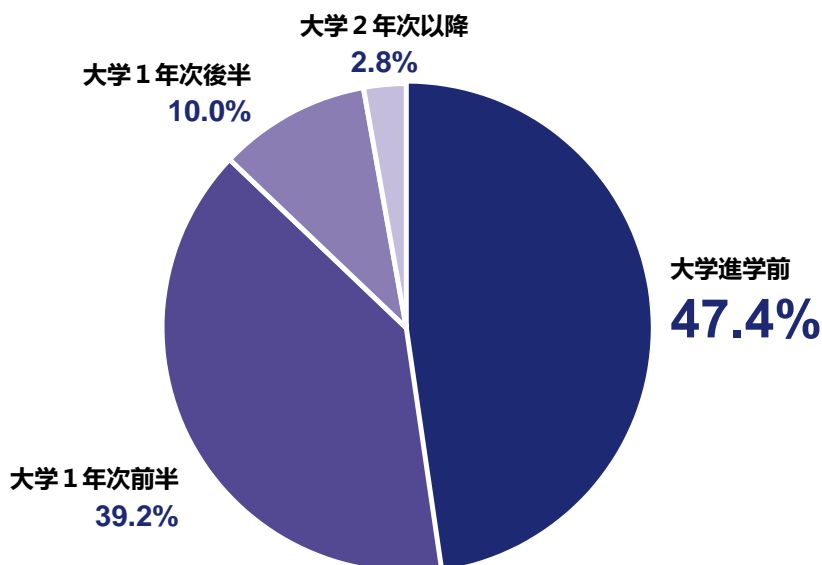
KEY WORD

「特別選抜」

法曹コース修了予定者を対象とした、法科大学院の既修者コース(2年)に入学するための選抜試験です。法曹コースでの成績等を基に合否判定がなされます。

法曹コースを知ったのはいつ？

法曹コースについていつ頃知りましたか。



POINT

本アンケートに回答した学生の約半数は、大学進学前から法曹コースを知っていました。各大学の法曹コースや連携している法科大学院の特徴もぜひ詳しく調べて、大学選びの参考にしてください。

法学を学ぶ魅力

これから法学を学ぶ方へ、法科大学院修了生からのメッセージです。

自分の興味ある世界(スポーツ、音楽、医療等)に関わることができる

英単語と文法を単純に覚えるのは退屈ですが、興味のある事柄を英語で伝えたい、知りたいと思った時は単語も文法も関心を持って覚えられます。法律も似ていて、自分が興味を持っている分野や事柄に引き付けると、とても学びが楽しくなります。条文を覚えるだけではなく、これはどういう場合に使えるのか、こういう解釈は可能か等暗記がとてもクリエイティブな活動に変わります。実は法律に関する学修や仕事の面白さは、法律という視点から、自分の興味ある世界(スポーツ、音楽、医療等)に関わることができることにあると思います。【Aさん】



法律を活用して争いを解決できる

物理的な力の強さやお金ではなく、法律を使用して人々の争いを解決したり、社会的な問題で苦しんでいる人を助けたりすることができます。何か争いや揉め事が起きたとき、社会的な立場が弱い人や経済的に困っている人に対しても、権力やお金ではなく、法律を活用して争いを解決するお手伝いをすることができます。法律の学修や仕事の魅力はこのような「ちから」を身につけられることだと思います。【Bさん】



単なる暗記科目ではない法律の学び

2台以上の自転車が並んで走るとは道路交通法で禁止されていることは知っている方も多いと思います。しかし、違反した場合にどうなるのでしょうか。そもそもなぜ並んで走ってはいけないのでしょうか。法律はとても身近で、生活のあらゆる場面に関係していますが、法律の条文を覚えるだけでは不十分です。なぜそのような条文や法律ができたのか等、法律の背景や効果を知り、いろいろな事例を想定して、その妥当性を考えることで初めてその法律を理解できたこととなります。この点が単なる暗記科目ではない法律の学びの面白さだと思います。【Cさん】



Q&A よくある疑問や質問にお答えします。

Q 法曹コースには、どのように入るのですか。

A 法曹コースのある大学(学部)に入学し、所定の時期(多くは2年次進級時)に法曹コースを選択することになります。法曹コースは大学の法学部などの法学を学ぶ学部を設置されています。

Q 法曹コースに入ると、必ず法科大学院に進学できるのですか。

A 法科大学院の入学者選抜を受験し、合格する必要があります。法曹コースを設置する大学と「法曹養成連携協定」を締結している法科大学院では、入学者選抜において、法曹コース修了予定者を対象とした特別選抜を実施しています。進学及び入学者選抜の詳細は各大学の法曹コースや各法科大学院にご確認ください。

Q 法曹コースに入らないと、法科大学院には進学できないのですか。

A 法曹コースに入らなくても法科大学院に進学することは可能です。

Q 法曹コースに入ったものの、3年間で卒業できなかった場合、どうなりますか。

A 法曹コースを3年で修了して早期卒業することができなかった場合でも、4年目以降でコースを修了し、卒業した後に法科大学院に進学することができます。

掲載順	大学名	学部	コース名	所在地
1	北海学園大学	法学部	法曹養成プログラム	北海道
2	北海道大学	法学部	法曹養成プログラム	北海道
3	東北大学	法学部	法曹コース	宮城
4	千葉大学	法政経学部	法曹コース・プログラム	千葉
5	慶應義塾大学	法学部	法曹コース	東京
6	上智大学	法学部	法曹コース	東京
7	創価大学	法学部	グローバル・ロイヤーズ・プログラム	東京
8	中央大学	法学部	法曹コース(一貫教育プログラム)	東京
9	東京大学	法学部	法科大学院進学プログラム	東京
10	東京都立大学	法学部	法律学コース・法曹養成プログラム	東京
11	日本大学	法学部	法曹コース	東京
12	一橋大学	法学部	法曹コース	東京
13	法政大学	法学部	法曹コース	東京
14	明治大学	法学部	法曹コースにおける『一貫教育プログラム』	東京
15	明治学院大学	法学部	法曹コース	東京
16	立教大学	法学部	法曹コース	東京
17	早稲田大学	法学部	法曹コース	東京
18	新潟大学	法学部	法曹養成プログラム	新潟
19	金沢大学	人間社会学域法学類	法曹養成プログラム	石川
20	信州大学	経法学部	法曹養成プログラム	長野
21	愛知大学	法学部	法科大学院連携コース	愛知
22	名古屋大学	法学部	法曹コース	愛知
23	京都大学	法学部	法曹基礎プログラム	京都
24	同志社大学	法学部	法曹養成プログラム	京都
25	立命館大学	法学部	法曹進路プログラム	京都
26	大阪大学	法学部	連携法曹基礎課程	大阪
27	大阪公立大学	法学部	法曹養成プログラム	大阪
28	関西大学	法学部	関西大学法曹コース	大阪
29	関西学院大学	法学部	法曹養成連携プログラム	兵庫
30	神戸大学	法学部	法科大学院進学プログラム(法曹コース)	兵庫
31	岡山大学	法学部	法曹プログラム	岡山
32	広島大学	法学部	法曹養成プログラム	広島
33	九州大学	法学部	法科大学院連携プログラム	福岡
34	西南学院大学	法学部	法務コース	福岡
35	福岡大学	法学部	法曹連携基礎クラス	福岡
36	熊本大学	法学部	アドバンスト・リーダー・コース (法学特修クラス)法曹プログラム	熊本
37	鹿児島大学	法文学部	法曹養成連携プログラム	鹿児島

※最新の情報は各大学のホームページ等をご確認ください。

法曹コース 事例集

<令和4年4月1日時点>

※最新の情報は各大学のホームページ等をご確認ください。

Contents

北海学園大学／私立	2
北海道大学／国立	2
東北大学／国立	2
千葉大学／国立	2
慶應義塾大学／私立	3
上智大学／私立	3
創価大学／私立	3
中央大学／私立	3
東京大学／国立	4
東京都立大学／公立	4
日本大学／私立	4
一橋大学／国立	4
法政大学／私立	5
明治大学／私立	5
明治学院大学／私立	5
立教大学／私立	5
早稲田大学／私立	6
新潟大学／国立	6
金沢大学／国立	6
信州大学／国立	6
愛知大学／私立	7
名古屋大学／国立	7
京都大学／国立	7
同志社大学／私立	7
立命館大学／私立	8
大阪大学／国立	8
大阪公立大学／公立	8
関西大学／私立	8
関西学院大学／私立	9
神戸大学／国立	9
岡山大学／国立	9
広島大学／国立	9
九州大学／国立	10
西南学院大学／私立	10
福岡大学／私立	10
熊本大学／国立	10
鹿児島大学／国立	11

<私立大学>

北海学園大学

法学部法曹養成プログラム

- 所在地 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40
- 問合せ先 法学部事務室
TEL:011-841-1161 Mail:sogolaw@hgu.jp
- Web <https://law.hgu.jp/program/early-graduation-system.html>
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数15名）（2022年度）
- 連携先の法科大学院 北海道大学大学院法学研究科 法律実務専攻

雪だるまを作るように、しっかりと法曹を育てています。

特徴

本学は、北海道・東北地区で唯一の、法曹コースをもつ私立大学で、地元密着型の法曹養成を目指しています。本学法学部には1部と2部（夜間部）があり、両者は授業時間帯が異なる以外、担当者と授業内容に違いがありません。従って、2部学生が日中は働き、夜間は大学にて法曹コースを履修し、早期卒業による5年一貫型で法曹を目指すことも可能です。

各種取り組み

法曹コース向け演習（ゼミ）を1部、2部（夜間部）両者に設置し、答案の個別添削指導を実施しています。さらに本学法科大学院教員が担当する、法律実務科目を設置し、将来の法科大学院進学を見据えたカリキュラムを展開しています。加えて、提携先の北海道大学法科大学院の科目履修も可能で、1部の学生が移動のため本学科目の履修が困難である場合には、夜間の2部科目の履修で代替できます。

<国立大学>

東北大学

東北大学法学部法曹コース

- 所在地 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1
- 問合せ先 東北大学法学部教務係
TEL:022-795-6175 Mail:law-kyom@grp.tohoku.ac.jp
- Web <http://www.law.tohoku.ac.jp/education/3plus2course/>
- コースの定員 各学年30名を目安（2022年度）
- 連携先の法科大学院 東北大学大学院法学研究科 総合法制専攻

法曹を目指す学生の現実的なニーズに応える

特徴

本学法学部の法曹コースでは、①必修科目である六法科目、②選択必修科目である七法科目（六法及び行政法）に関する法曹実務演習、③その他の履修推奨科目等を通じた段階的学習が想定されており、早期卒業を目指す場合は3年次前期、通常の卒業を目指す場合は4年次前期までに、法科大学院の受験に必要な単位を揃えることが可能なカリキュラムが工夫されています。

各種取り組み

本学法学部の法曹コースを修了するためには、必修科目に加えて、選択必修科目として、七法科目に関する法曹実務演習（各2単位）を合計6単位以上取得する必要があります。他方、科目履修の上限はありませんので、希望の場合は、何科目でも演習を履修し、インテンシブな指導を受けることが可能です。

<国立大学>

北海道大学

法曹養成プログラム

- 所在地 〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目
- 問合せ先 法学研究科 学事担当
TEL:011-706-3964
- Web https://www.juris.hokudai.ac.jp/general/ug/new_programs.html
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数18名）（2022年度）
- 連携先の法科大学院 北海道大学大学院法学研究科 法律実務専攻

法学部と法科大学院との連携によるシームレスな法学教育の実現

特徴

（1）多くの授業は、法科大学院の教員又はその経験者が担当し、法科大学院教育との連続性を確保しています。（2）法律学の基礎を学ぶ講義科目の中には複数の弁護士等が担当する授業もあり、学習意欲の維持・向上が図られています。（3）多くのゼミでは、法科大学院進学に必要な知識を深め、論述能力を高める指導を行っています。（4）学生のニーズに沿った個別指導を行っています。

各種取り組み

（1）①法科大学院入試前の学習、②法科大学院入試合格後、卒業までの学習について、それぞれの段階に応じた個別指導を行っています。（2）法科大学院入試前は、入試に合格するために必要な知識を深め、論述能力を高める指導を行っています。（3）入試後は、合格者に対し、法律基本科目に関する事例分析能力と論述能力を高めるための入学前の事前学習指導を行っています。

<国立大学>

千葉大学

法曹コース・プログラム

- 所在地 〒263-0022 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
- 問合せ先 千葉大学西千葉地区事務部人社系学務課学部学務室
TEL:043-290-2350
Mail:bhgakumu@office.chiba-u.jp
- Web <https://www.le.chiba-u.jp/about/housou.html>
- コースの定員 15名（2022年度）
- 連携先の法科大学院 千葉大学大学院専門法務研究科 法務専攻

生きている一人ひとりのために生活者の視点を忘れない法曹の養成

特徴

法曹コース・プログラムでは、法科大学院の専任教員によって担当される「応用憲法」等の応用法学科目が開講されています。応用とはいうものの、基礎的な問題解決能力を重視しており、少人数授業のため、発言しやすい環境が整えられています。また、基本的な法律科目だけでなく、法哲学や法社会学等の基礎法学も充実しており、心ある法曹を育成するために、多様な科目が配置されています。

各種取り組み

法政経学部と法科大学院との連携が強く、双方の教員により学生向けの相談会等を実施しています。教員と学生との親睦を深めるための懇談会も定期的で開催されており、学修方法等の情報交換の場として役立っています。実務家教員による指導も熱心で、実務法曹によるシンポジウム等も随時開催されています。そのほか、授業料免除制度等の経済的支援も充実しています。

<私立大学>

慶應義塾大学

法曹コース

●所在地 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
●問合せ先 慶應義塾大学 学生部法学部担当
TEL:03-5427-1557 Mail:keio-hou@adst.keio.ac.jp

●Web <https://www.law.keio.ac.jp/jurisprudential/#ct01-5>

●コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数45名）
（2022年度）

●連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻

多彩に展開される演習授業で高度の問題解決能力を養成

特徴

法曹コースを他の学部生と区別するコース登録制ではなく、法律学科カリキュラムの中から指定された科目を履修して単位取得することをもってコース修了を認める、履修プログラム制を採用しています。コース修了に必要な指定科目のうち最も重要なのが、主要法律科目に関する法曹志望者のための専門演習であり、1~3年の各段階（法務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）において多彩に展開されています。

各種取り組み

法曹コース指定科目については法科大学院教員も多く担当しており、法曹養成に向けた法学部・法科大学院間の連携を深めています。また、指定科目以外にも多種多様な科目を履修できるため、専門的知見の幅を広げ、法曹としての付加価値を高めることができます。自身がとくに関心を寄せる分野については、ゼミナールを専攻することで、教員や法曹コース以外の学生との親密な交流も図れます。

<私立大学>

創価大学

グローバル・ロイヤーズ・プログラム (Global Lawyers Program)

●所在地 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
●問合せ先 創価大学法学部・法科大学院事務局
TEL:042-691-9476 Mail:hogakubu@soka.ac.jp

●Web <https://www.soka.ac.jp/law/course/legal/glp/>

●コースの定員 25名程度
（2022年度）

●連携先の法科大学院 創価大学大学院法務研究科 法曹専攻

実践的な教育と重層的な個別指導で多くの司法試験合格者を輩出

特徴

法学部に法曹養成を目指したGlobal Lawyers Program(GLP)を2014年度に開設し、2020年に法曹コースとして認定。創価大学法科大学院の既修者コース等への進学に特化したプログラムです。法律家としての知識と能力を修得することによって、国際的視野と人権感覚をもち、問題解決のために法を活かして人々に尽くし行動できる法律家を育成します。

各種取り組み

法律実務家による演習やチュートリアル、キャリア意識発揚のための講演会や懇談会等を実施しています。読解力や論述能力を養成するゼミも充実。教員や弁護士チューターの個別指導で学修をサポート。創価大学法科大学院授業の先行履修が可能で、入学後単位認定します。法科大学院入試やカリキュラム説明会を実施。2020年以降GLPから創価大学法科大学院を経た司法試験合格者を輩出しています。

<私立大学>

上智大学

法曹コース

●所在地 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
●問合せ先 上智大学法学部事務局 TEL:03-3238-3231
Mail:faculty-law-co@sophia.ac.jp

●Web <http://www.sophialaw.jp/faculty/env/legal.html>

●コースの定員 2年次 30名、3年次 30名
（2022年度）

●連携先の法科大学院 上智大学大学院法学研究科 法曹養成専攻

司法試験合格まで5年一貫 少人数できめ細やかな教育

特徴

本学の法曹コースは定員30名程度の少人数制です。法学部・法科大学院の教員と、上智大学法科大学院を修了し実際に司法試験に合格した先輩弁護士が中心となって指導にあたります。顔と名前のわかるクラスメイトと切磋琢磨し、疑問に思ったことはすぐに教員に質問できる環境が整っています。法学部から法科大学院までの一貫した、皆さんの個性に応じたきめ細やかな指導を受けられます。

各種取り組み

複数の教員が法学部と法科大学院での指導にあたり、学部から大学院へ切れ目のない指導を表現しています。正規授業外の添削プログラム（学生が書いた答案を弁護士が添削）、長期休暇中の科目別集中講義、毎月の小テスト、定期的な模試により、学修に専念できる環境を提供しています。学年を超えた法曹コース生どうしの交流や、実務家の講演企画も定期的に行っています。

<私立大学>

中央大学

法学部法律学科法曹コース（一貫教育プログラム）

●所在地 〒112-8631 東京都文京区大塚1-4-1
●問合せ先 中央大学法学部
Mail:law-toiawase-grp@g.chuo-u.ac.jp

●Web <https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/>

●コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数87名）
（2022年度）

●連携先の法科大学院 中央大学大学院法務研究科 法曹専攻

中央大学ロースクールとの一貫教育を強化し、新時代の法曹養成へ

特徴

基本七法（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法）について、基礎から発展へと段階的に学修を進めます。法律専門書や裁判所の判例の読み方を学ぶのほか、基本七法すべてについて展開科目を用意し、法曹になるために必要な基本的な法律の理解と基礎的運用能力を身につけ、社会で生起する複雑かつ多彩な利害の対立的確に分析し、解決へ導く法曹人材を育成します。

各種取り組み

数多くの法曹を輩出してきた強みを活かし、法律家の仕事の具体的なイメージと社会で果たす役割について理解を深める授業を多数用意しています。法律実務家によるゼミ指導、企業や法律事務所等でのインターンシップの他、現役の法曹三者による、それぞれの立場からの法曹の意義や役割を講義し、まとめとしてキャンパス内に模擬法廷を構築し模擬裁判を行う「法曹論」の授業を用意しています。

<国立大学>

東京大学

法科大学院進学プログラム

- 所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
- 問合せ先 東京大学法学部学部チーム TEL:03-5841-3109
Mail:gakubu.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
- Web <https://www.j.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/>
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数109名）
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 東京大学大学院法学政治学研究科 法曹養成専攻

高度な法学部教育の一環としてのプログラム

特徴

法科大学院進学プログラムは、東京大学法学部の学生であれば誰でも登録することができる履修プログラムです。法学部のほとんど全ての専任教員は法科大学院の授業を担当しており、全体で統一した教育効果が上がるような授業を行っています。法科大学院進学プログラムの登録者は、法科大学院の入試において特別枠に応募することができます。早期卒業制度の利用も可能です。

各種取り組み

法科大学院進学プログラムでは、少人数での演習や若手弁護士が担当する民法基礎演習が必修となっているなど、最先端の知見や実務に接しながら学ぶことができます。法科大学院進学プログラムの登録者であって東京大学法科大学院の入試に合格したもののうち学業成績が特に優秀な学生には、東京大学法科大学院の入学金とほぼ同額を支給する進学奨励金制度が設けられています。

<私立大学>

日本大学

法曹コース

- 所在地 〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町2丁目3番1号
- 問合せ先 法学部教務課 TEL: 03-5275-8502
Mail: kyomu.law@nihon-u.ac.jp
- Web <https://www.law.nihon-u.ac.jp/course/law.html>
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数38名）
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 日本大学大学院法務研究科 法務専攻

「司法の日大」の伝統と融合した法曹コース

特徴

日大法学部5学科の1つである法律学科に、法曹を目指す学生のみを集めた法曹コースを新設し、コース専用の授業を多く設けて少人数教育を行っています。また、「司法の日大」と呼ばれる原動力となった司法試験の受験指導組織として「司法科研究室」があり、各種の答案練習会のほか、本学出身弁護士によるグループゼミが組まれ、1年次より段階的・実践的な受験指導が行われます。

各種取り組み

法曹コースの授業の一部を、連携先である日大ロースクールの専任教員が担当しているほか、法曹コースの学生が日大ロースクールの授業の一部を早期履修できる制度も用意しています。また、法曹コースに学修指導教員を配置し、適宜履修指導を行う仕組みをとっています。

<公立大学>

東京都立大学

法律学コース・法曹養成プログラム

- 所在地 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
- 問合せ先 東京都立大学管理部文系学務課法学部教務係
TEL:042-677-1111（代表）
Mail:hougaku-kyoumu@jmj.tmu.ac.jp
- Web <https://www.law.tmu.ac.jp/academics/faculty.html>
- コースの定員 20名程度
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 東京都立大学大学院 法学政治学研究科法曹養成専攻

個性に応じた柔軟かつきめ細かな指導で充実した学修を支援します

特徴

少人数教育を実践してきた伝統を踏まえ、法律基本科目の体系的かつ段階的な学修により法科大学院進学後の司法試験早期合格のための基礎的能力を涵養するのみならず、政治学分野も含めた幅広い選択科目の履修により、ひとりひとりの関心に応じた多様な学びを実現します。また、担当教員による面談や相談の機会を多く設けており、日々の学修や進路選択をサポートします。

各種取り組み

成績を中心に一人一人の学修状況を定期的に確認し、学生の個性に応じた個別の学修指導をしています。また、コースガイダンス、法科大学院進学説明会やOBOGによる講演会等、学修や進路選択のための情報を得る機会を豊富に用意するとともに、教員に相談したい学生が気軽に相談できる機会を設けるなど、少人数教育のよき伝統をいかし、個々人に応じたきめ細かな学修支援を行っています。

<国立大学>

一橋大学

法学部法曹コース

- 所在地 〒186-8601 東京都国立市中2-1
- 問合せ先 法学部・法学研究科事務室 TEL.042-580-8204
Mail: law-km.g@ad.hit-u.ac.jp
- Web <https://www.law.hit-u.ac.jp/faculty/lawyer/>
- コースの定員 25名程度（2022年度3年次法曹コース在籍学生数33名）
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 一橋大学大学院法学研究科 法務専攻

体系的な学習と幅広い関心の涵養を通じて法曹としての礎を築く

特徴

3年での早期卒業により、最短5年で司法修習生になることを可能とする途を提供する一方で、学部にて4年間在籍し、幅広い学習や多様な経験を経て法科大学院に進学する選択肢も提示しています。法律専門科目の体系的学習を確保するためのカリキュラムと合わせて、一橋大学法科大学院を修了し第一線で活躍する弁護士らが学生の学修を支援し、将来法曹として活躍するための基礎を築きます。

各種取り組み

法曹コース固有の必修科目「法律実務入門」では、法律文書作成の基礎を学ぶほか、様々な分野で活躍する法曹の講演や、法律事務所訪問・裁判傍聴等の体験を通じて、法曹のキャリアについても考えます。また、一橋大学法科大学院を修了した弁護士による課外ゼミも実施しています。一橋大学法科大学院で開講される所定の科目を先行履修し、大学院入学後の修得単位に算入することも可能です。

<私立大学>

法政大学

法学部法律学科法曹コース

●所在地 〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
●問合せ先 法学部事務局
TEL:03-3264-9323 Mail:jhou@hosei.ac.jp

●Web <https://www.hosei.ac.jp/hogaku/gakka/horitsu/housou/>

●コースの定員 20名程度
(2022年度)

●連携先の法科大学院 法政大学大学院法務研究科 法務専攻

法学部・法科大学院教員の強力な連携の下、
充実した学修指導

特徴

法学部を早期卒業して法科大学院進学を目指す学生に向けて、法曹コース特設科目において少人数かつ双方向の授業を提供しています。そのカリキュラムは、法学部教員と法科大学院教員との綿密な協力関係のもとに設計・実施され、基本的な法制度の体系的理解を図りつつ、法科大学院との接続を意識した判例分析や文章起案をとり入れるなど、基礎から応用へを意識した学生指導を行っています。

各種取り組み

法曹コースの厳しいカリキュラムを乗り越えるために必要な学習姿勢・学習スキル等のガイダンスを行っています。また、各クラスにつき担任制を設け、他の教員との仲介役も兼ねて、学習や進学等に関する個別の相談をしやすい環境が整えられています。広い視野を得るために学部的一般ゼミへの参加も認めるなど、法科大学院・法学部が一体として学生を支援する体制を用意しています。

<私立大学>

明治学院大学

明治学院大学法曹コース

●所在地 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
●問合せ先 明治学院大学法学部法律科学研究所
TEL:03-5421-5209
Mail:yoshiy@law.meijigakuin.ac.jp

●Web <https://mgulaw.jp/legal-pro/>

●コースの定員 2年次生 30名、3年次生 30名
(2022年度)

●連携先の法科大学院 千葉大学大学院専門法務研究科 法務専攻、東京都立大学大学院 法学政治学研究所法曹養成専攻、慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻、明治大学専門職大学院法務研究科 法務専攻、早稲田大学大学院法務研究科 法務専攻

法曹への道 - 明治学院の親身なサポートで
スタートダッシュ！

特徴

一人ひとりの個性を尊重したきめ細かい指導と少人数教育の徹底が特徴です。学期毎の個別指導面談、学生一人に二人の学習指導教員配置、学習進度に応じた学修補完と発展のための課外講座（論述答練・短答対策講座等）設置など、段階的かつ丁寧・着実な学修の仕組みを整えています。法律学科の優秀層の学生が切磋琢磨する環境、熱心な教員の後押しも大きな特色です。国公・私立の6有力法科大学院と連携していることも大きな魅力です。

各種取り組み

法曹像をイメージさせる1年次導入演習を起点に、基本六法+行政法などを段階的に学修できる教育体制を整備しています。また、休暇中の課外講座実施や連携先法科大学院教員による演習・連携先法科大学院開設の課外講座参加奨励も行っていきます。その他、学期毎の学習指導教員による面談、随時の学習・進路相談などのサポートとともに、卒業生法曹による実務家講演会を開催しております。

<私立大学>

明治大学

法曹コースにおける『一貫教育プログラム』

●所在地 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
●問合せ先 明治大学法学部事務局
TEL:03-3296-4152 Mail:hogaku@mics.meiji.ac.jp

●Web <https://www.meiji.ac.jp/hogaku/course/bar.html>

●コースの定員 80名
(2022年度)

●連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻、明治大学専門職大学院法務研究科 法務専攻

「権利自由、独立自治」の精神に基づく
「個」を尊重する法曹養成

特徴

5つのコース制を採用し、「法曹コース」を選択した学生は、2年次より同コース内に設置された『一貫教育プログラム』において、法学部と法科大学院の教員が授業を担当する「法曹コース用」科目（民事訴訟法、刑事訴訟法、会社法、司法演習など）を履修することができます。これにより、明治大学では、法曹養成を念頭においた、法科大学院と連携した一貫教育を実現しています。

各種取り組み

明治大学法科大学院進学希望者は、「先取り履修制度」により、学部在学中から法科大学院の授業が履修可能です。修得した単位は学部卒業単位にはなりませんが、法科大学院進学後に修了要件単位として認定されるので、授業負担が軽減し、司法試験に向けた学習時間を確保できます。また、国家試験指導センター（法制研究所）の各種講座も充実しており、法曹を目指す学生を支援しています。

<私立大学>

立教大学

法学部法学科法曹コース

●所在地 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
●問合せ先 立教大学教務部学部事務2課 法学部担当
TEL:03-3985-2544 Mail:z3000371@rikkyo.ac.jp

●Web <https://lp.rikkyo.ac.jp/>

●コースの定員 20名程度
(2022年度)

●連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻、早稲田大学大学院法務研究科 法務専攻

高い意識をもつ仲間とともに、法曹への最短
コースを歩もう！

特徴

立教大学法学部の法曹コースでは、三大私立法科大学院（慶應義塾・中央・早稲田）の各法科大学院と法曹養成連携協定を締結し、これらの法科大学院にバーパテテストなしで進学する可能性を確保しています。また、法曹コース生の司法試験受験に向けた実践的な学修を強力にサポートするため、主要な法分野に関する「発展演習」を展開するなど、魅力的な授業を多数用意しています。

各種取り組み

立教大学法学部の法曹コースでは、前述した「発展演習」を展開し、起案指導等、通常の授業では困難な実践的・実務的教育を実施しています。また、本学卒業生の法曹実務家とも連携しながら、情報交換や答案練習の機会を数多く提供するなど、法曹を目指すにあたって必要なサポートを行っています。さらに、すべての専任教員が毎週オフィスアワーを設け、法曹コース生からの学修にかかわる相談に対し、個別に綿密な指導や助言を提供する体制をとっています。

<私立大学>

早稲田大学

法学部法曹コース

●所在地 〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1
 ●問合せ先 早稲田大学法学部事務所
 TEL:03-3232-4534
 Mail:law-students@list.waseda.jp

●Web https://www.waseda.jp/folaw/law/students/law_pro/

●コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数110名）（2022年度）
 ●連携先の法科大学院 早稲田大学大学院法務研究科 法務専攻

体系的な知識の修得と応用力の養成、課外プログラムで法曹体験

特徴

法科大学院進学と、ひいては司法試験の法科大学院在学中受験に向けて、基礎的な知識を体系的に修得できます。1年生から実務法曹による業務内容や社会と法との関わり方を直接に学ぶ科目や、法的思考力と文章表現力を養う演習も用意されています。コースの中心となる応用科目の多くは法科大学院の教員が担当し、具体的な事案を分析した上で議論できる実践的な応用力の獲得を目指します。

各種取り組み

08・06の実務法曹から業務の様子や学生時代のお話をうかがう交流企画、実際の事件を題材に弁護士が解説するゼミなど、座学から模擬裁判に至るまで、法曹実務を体験できる講座を開催しています。授業期間中には、大学院生が幅広く学修に関する質問を受け付けアドバイスをを行う相談室を開設しており、さらに、本学法科大学院の実施する答案添削等の指導を受ける機会もあります。

<国立大学>

金沢大学

法曹養成プログラム

●所在地 〒920-1192 石川県金沢市角間町
 ●問合せ先 金沢大学人間社会人社会事務学部学生課教務・学生係
 TEL:076-264-5886
 Mail:n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

●Web <https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/home/about/legalprofession>

●コースの定員 30名（2022年度）
 ●連携先の法科大学院 金沢大学大学院法務研究科 法務専攻

地域に根差し世界に羽ばたく法曹の養成

特徴

法曹養成プログラム（法曹コース）は法曹を志望する学生が総合法学コースに所属し、法学類と法科大学院との体系的・一貫的教育を受けるプログラムです。基本7法（憲法・行政法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法）を学修するほか、「法曹実務」、「総合法学演習」等、法科大学院の教員や弁護士等による授業を通して実践的な勉強もできます。

各種取り組み

法科大学院の教員や地元の弁護士等が「法曹実務」「特講（入門コーススクール）」「特講（民事実務入門）」の講義を提供しています。法曹養成プログラムに関する説明会、個別相談会なども実施しています。また、法曹養成プログラムを修了し、金沢大学法科大学院の特別選抜に合格した者は入学検定料、入学金、2年間の授業料等についての経済支援が受けられます。

<国立大学>

新潟大学

法学部 法曹養成プログラム

●所在地 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
 ●問合せ先 法学部学務係
 TEL:025-262-6283
 Mail:gakumu2@jura.niigata-u.ac.jp

●Web <https://www.jura.niigata-u.ac.jp/~law-web/>

●コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数27名）（2022年度）
 ●連携先の法科大学院 東北大学大学院法学研究科 総合法制専攻、神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻、慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻

ていねいで親身な充実の個別指導により強力にサポート

特徴

学生と教員の距離が非常に近く、現役の弁護士や司法試験合格者を含む教授陣が、ていねいで親身な個別指導により学修を全面的に支援します。クラス担任や科目担当の教員には常時気軽に相談できるのが強みです。また、進路相談会や講演会では司法試験合格者や法科大学院進学者の経験談を聞くことができます。法曹コース学生専用の自習室もあり、落ち着いた環境で勉強することができます。

各種取り組み

連携先法科大学院の教員による特殊講義「リーガル・プロフェッション」では、法科大学院での学修の様子や必要な心構え等を知り、モチベーションを高めることができます。実務家教員や司法試験に最近合格した若手教員による法律文書の作成、ゼミ形式の判例演習など、実務を意識した授業も充実しており、勉強の仕方や受験に関するアドバイス等、きめ細やかな助言・相談を行っています。

<国立大学>

信州大学

法曹養成プログラム

●所在地 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
 ●問合せ先 信州大学経済学部学務グループ
 TEL:0263-37-2304
 Mail:k_gakumu@shinshu-u.ac.jp

●Web <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/index.php>

●コースの定員 2年次 10名、3年次 10名（2022年度）
 ●連携先の法科大学院 慶應義塾大学大学院法務研究科 法曹養成専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻

法務実習科目と実務家による講義が充実

特徴

実務における問題意識やその解決方法を学び、身に付けた理論や分析手法の知識を現場で活用し実践する能力を養成するための法務実習科目を必修としています。法務実習では、法曹関係者の指導を受けながら模擬捜査や模擬裁判を行い、実務との架橋を意識した教育を行うことができます。また、裁判官、検察官、弁護士等による講義が充実しており、実務の最前線に触れる機会を提供します。

各種取り組み

協定先法科大学院の教員が担当する演習では、公法、刑事法、民事法の各基幹科目の論文式問題に関する答案作成の指導を実施しています。令和4年度には連携協定校の拡大に向けた取組みを行い、東京都立大学法科大学院と法曹養成連携協定を締結しました。法曹プログラムの学生が適切な学習計画をたてられるように、教員に履修相談できる場を提供しています。また、定期的に個別面談を行っています。

<私立大学>

愛知大学

法科大学院連携コース

- 所在地 〒453-8777 名古屋市中村区平池町4-60-6 (法科大学院連携コース)
〒461-8641 名古屋市中村区筒井2-10-31 (法科大学院)
- 問合せ先 名古屋教務課 法科大学院連携コース担当
TEL:052-564-6112 Mail:nkyomu@aichi-u.ac.jp
- Web https://www.aichi-u.ac.jp/lawschool/legal_course
- コースの定員 22年度入学年次以降、学年毎に5名程度 (2022年度)
- 連携先の法科大学院 愛知大学大学院法務研究科 法務専攻

全国屈指の合格力を誇る愛知大学法科大学院での学びを学部から

特徴

高い司法試験合格率を誇る本学法科大学院と連携したコースとして開設。学部所属しながら、法科大学院の授業を直接受講することで、高度な専門知識や論理的思考力を効果的に身に付けることができ、かつ、法科大学院進学後も連続した学習を実現しています。

各種取り組み

全国有数の合格実績を誇る本学法科大学院の授業を直接受講できるのが本コースの特徴ですが、そのため、授業を担当している法科大学院の教員から授業外もサポートを受けられます。この他にも弁護士チューターによるフォロー、法学部の本コース担当教員による履修指導や相談も、随時実施しています。さらに、コース生は専用の自習スペース・ロッカーも利用できます。

<国立大学>

京都大学

法学部法曹基礎プログラム

- 所在地 〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
- 問合せ先 法学部教務掛 TEL:075-753-3107
Mail:kyomu031@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
- Web https://law.kyoto-u.ac.jp/undergraduate/about/kiso_program/
- コースの定員 20名程度/1学年 (2022年度)
- 連携先の法科大学院 京都大学大学院法学研究科 法曹養成専攻

法科大学院との緊密な連携により、理論と実務を深く学修できる

特徴

法曹を志望する者が、法学部での学業成績と口述試験等に基づく特別選抜により法科大学院に進学することができるよう、本学法科大学院の教育課程と連携して、法曹基礎プログラムを提供しています。この法曹基礎プログラムでは、必修科目及び選択必修科目などが定められ、専門科目を段階的かつ効果的に履修できるよう配慮されており、修了者には優秀な成績を修めることが求められています。

各種取り組み

本学法科大学院の教員が学部授業や共通授業を提供し、専門科目の基礎を体系的に学ぶことができます。また、必修科目である演習も提供しているため、少人数教育を通じて、法科大学院の教員から親しく学修指導を受けることができます。さらに、裁判官など実務経験のある教員の授業では、裁判の実際や実務の面白さ、奥深さに触れることができ、学部生の法曹への関心を高めています。

<国立大学>

名古屋大学

法曹コース

- 所在地 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
- 問合せ先 名古屋大学文系教務課
TEL:052-789-2317
Mail:law-kyomu@adm.nagoya-u.ac.jp
- Web <https://www.law.nagoya-u.ac.jp/faculty-of-law-graduate-school/hoso.html>
- コースの定員 20名程度 (2022年度)
- 連携先の法科大学院 名古屋大学大学院法学研究科 実務法曹養成専攻

法科大学院専任教員と実務家教員による特殊講義と学修環境が充実

特徴

3年早期卒業と特別選抜入試を経由した法科大学院進学を前提として、法律基本科目を中心に効率よく学修できるカリキュラムを導入しています。法曹コース特殊講義では、法科大学院専任教員が事例問題を素材とした演習授業を行い、論述能力を涵養するとともに、実務家教員が自らが担当した事件を素材に事件の発生から解決までの流れを解説するなど、実務を強く意識した授業を行っています。

各種取り組み

法曹コースにおける学修を積極的に支援するため、学年別説明会（授業履修等ガイダンス）の開催、法曹コース専用自習室の提供、法科大学院教育支援システムIDの付与（各種法律情報データベースの利用提供）といった取り組みを行っています。また、法曹コース在学中に共同開講科目等の履修によって法科大学院の単位取得を認めることで法科大学院教育とのスムーズな接続を図っています。

<私立大学>

同志社大学

法学部法律学科法曹養成プログラム

- 所在地 〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
- 問合せ先 法学部・法学研究科事務室
TEL:075-251-3511
Mail:ji-houjm@mail.doshisha.ac.jp
- Web <https://law.doshisha.ac.jp/>
- コースの定員 定員なし (2022年度3年次法曹コース在籍学生数18名) (2022年度)
- 連携先の法科大学院 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻、同志社大学大学院司法研究科 法務専攻

思い立ったとき、それがチャレンジの始まり

特徴

同志社大学司法研究科および神戸大学（大学院法学研究科実務法律専攻）との間で法曹養成連携協定を締結しています。特別なエントリーが必要でないプログラム制で、とくに1・2年次に履修すべき科目の多くは一般科目であるため、進路変更にも柔軟に対応することができます。他方で、3年次に履修する司法特講は少人数の独自科目であり、密度の濃い指導を受けることができます。

各種取り組み

プログラム科目の一部を連携先の法科大学院の教員が担当しています。また、プログラム外の科目として、1年次から履修可能な「答案作成ゼミナール」があり、事例問題の検討方法等を早くから学ぶことができます。さらに、課外講座である「法職講座」では、実務家の講演会や予備試験・司法試験の合格者の座談会を開催するほか、地方裁判所や家庭裁判所の見学も実施しています。

<私立大学>

立命館大学

法曹進路プログラム

- 所在地 〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
- 問合せ先 立命館大学法学部事務室
TEL:075-465-8175 Mail:law@st.ritsume.ac.jp
- Web <https://www.ritsume.ac.jp/law/education/housou/>
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数72名）
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 立命館大学大学院法務研究科 法曹養成専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻、名古屋大学大学院法学研究科 実務法曹養成専攻、神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

未来の法曹を育てる手厚い支援と緊密な連携

特徴

立命館大学では、2年生から所属する司法特修に、法曹進路プログラムを設置しています。法曹進路プログラムには、少人数、双方向型の授業を配置し、その多くを立命館大学法科大学院所属教員が担当しています。学部生の段階から、専門的、実践的な学修が可能です。立命館大学法科大学院以外にも、中央大学、名古屋大学、神戸大学と連携協定を締結し、多様な進路実現を応援しています。

各種取り組み

学部を3年間で卒業し、法科大学院を目指す早期卒業候補学生に対して、アカデミック・アドバイザーを配置し、学期ごとの中間審査など、丁寧な学修指導を行っています。また、2年生以降の各学期に法曹進路プログラムの登録時期を設け、個々の学生の進路希望に対応しています。さらに、課外でのエクステンションセンターでは、答案作成ゼミなど、正課授業と連携した支援も行っています。

<公立大学>

大阪公立大学

法曹養成プログラム

- 所在地 (杉本キャンパス) 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
- 問合せ先 法学部教務担当
TEL:06-6605-2303 Mail:gr-kyik-law@omu.ac.jp
- Web <https://www.omu.ac.jp/law/undergraduate/about/>
- コースの定員 年度ごとに20名
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 大阪公立（市立）大学大学院 法学研究科法曹養成専攻

国内屈指の研究者・実務家による少人数教育とサポート体制が充実

特徴

大阪公立大学法科大学院は、高度な法的能力を備えた「真のプロフェッション」の養成を目指し、これまで数多くの司法試験合格者を輩出しています。この伝統を継承しつつ、早期卒業を視野に入れた「法曹コース」を導入し、学部と法科大学院との連携をはかっています。国内屈指の研究者と実務家の教員集団による少人数教育と充実した学習支援を通じて効果的な法曹養成教育を実施しています。

各種取り組み

法曹コースでの学修を充実させるため、連携する法科大学院と学部とが共同開講する授業を行っています。また、法曹コース登録者は、基礎法学・隣接科目及び司法試験選択科目を先行履修することができます。さらに、法曹コースでの学修支援として、学部ゼミの指導教員、法科大学院教員、事務職員が法曹コース登録者と面談を行い、学修相談・支援、学修状況に応じた個別指導を行っています。

<国立大学>

大阪大学

法学部連携法曹基礎課程

- 所在地 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-6
- 問合せ先 法学研究科教務係 TEL:06-6850-5145
Mail:hokou-hougakukyomu@office.osaka-u.ac.jp
- Web http://www.law.osaka-u.ac.jp/undergraduate/legal_profession.html
- コースの定員 2年次 30名程度、3年次 20名程度、4年次 教授会にて定めた人数
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 大阪大学大学院高等司法研究科 法務専攻

少人数教育の重視、法曹を意識した多様な学びの機会の提供

特徴

少人数教育を重視して1年生から演習科目が提供されており、そこで条文や判例の読み方の基礎を学んだり、事例問題の演習を行うこともできます。必修科目の中には法科大学院所属の教員が担当するものもあり、法科大学院での経験を活かして授業を行っています。演習の担当教員がアドバイザー教員を兼ねているため、教員との距離が近い中できめ細かい学修指導を受けられることも特長です。

各種取り組み

2年生以上を対象に、弁護士等がオムニバス形式で行う授業を開講しており、法曹実務の現状を具体的に知ることができます。外部から講師を招いて多様なテーマで講演会も開催しており、様々な法的問題に対して関心を高めることもできます。また、法曹コースの学生が大阪大学法科大学院の授業を受けられる仕組みもあり、法科大学院の密度の濃い授業を早くから体験することも可能です。

<私立大学>

関西大学

関西大学法曹コース

- 所在地 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
- 問合せ先 教務事務グループ
TEL:06-6368-1121 Mail:houl@ml.kandai.jp
- Web <https://www.kansai-u.ac.jp/Fc.law/faculty/curriculum/lawyer.html>
- コースの定員 各入学年度につき約50名
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 関西大学大学院法務研究科 法曹養成専攻

丁寧な少人数教育・法科大学院との連携による充実した学修指導

特徴

演習科目を中心に法科大学院実務家教員から、進学後を視野に入れたきめ細かな指導を受けることができるのが最大の特徴です。法科大学院教員の指導のもと、判例に関する報告・討論、法律文書の作成等を重点的に行うことで、実務に必要なリーガルマインドを養うことができます。また、若手OB弁護士による課外授業や自習室の使用等、法科大学院による強力なバックアップも特徴の一つです。

各種取り組み

OB弁護士の法律事務所へのインターンシップや懇談会の実施、実務家によるオムニバス形式の授業の開講等、実務に触れる機会が多く設けられ、進路実現へのモチベーション向上につながります。また、学部在学中に法科大学院授業科目を先取履修し、修得した科目を進学後に既得科目として単位認定することで、司法試験合格に向けてより効率的に学修を進めることができます。

<私立大学>

関西学院大学

法曹養成連携プログラム

- 所在地 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
- 問合せ先 関西学院大学法学部
TEL:0798-54-6203
Mail:grp_law_contact@kwansei.ac.jp
- Web https://www2.kwansei.ac.jp/s_law/course2021/
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数29名）（2022年度）
- 連携先の法科大学院 関西学院大学大学院司法研究科

市民に寄り添う心豊かな法曹を目指します！

特徴

関学ロースクールとの連携により設計された“法曹養成連携プログラム”は、法学部入学から最短5年での司法試験合格を目標とする文部科学省認定の法曹コースカリキュラムです。高度な法律知識の習得に加え、現役弁護士などからのきめ細かな実践的指導により、法曹としての働くうえで必要不可欠な価値観や判断力を養い、市民に寄り添う心豊かな法曹を目指します。

各種取り組み

定期的な学修相談会や、法学部・司法研究科教員による個別相談窓口の設置により、気軽に悩みや相談に応えられる体制を整えています。また、同プログラム履修生が在籍する「特修コース」は、法曹、企業法務、公務の3分野から構成されています。法曹を目指す皆さんは、基本は法曹分野に所属しますが近年法曹の需要が高まる公務、企業法務分野の専門科目についても広く学ぶことができます。

<国立大学>

岡山大学

法曹プログラム

- 所在地 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1
- 問合せ先 岡山大学法学部教務学生グループ
TEL:086-251-7364
Mail:ggg7363@adm.okayama-u.ac.jp
- Web https://www.okayama-u.ac.jp/user/law/examinee/law_legal_profession.html
- コースの定員 40名程度（2022年度）
- 連携先の法科大学院 岡山大学大学院法務研究科 法務専攻

出身者が高い合格実績を誇る法学部による中四国初の法曹コース

特徴

岡山大学法学部は、これまで本学法科大学院と密に連携し、出身者が高い司法試験合格実績を上げてきましたが、2020年4月には中四国初の法曹コースを設立しました。本コース所属の学生は、2年生から学部科目に加え、大学院教員によるハイレベルな授業を前倒しで受けます。また、本コースで一定の成績を取めた者には、本学大学院入試で法曹コース特別入試の受験資格が与えられます。

各種取り組み

本コース所属の学生は、勉強に必要な資料を取り揃えた資料室や、静寂が確保された自習室を特別に利用できるほか、OBを含めた若手弁護士がアドバイザーとなって相談に乗るといった学修サポートが受けられます。また、本コースでは、本学法科大学院の全面的支援を受けて、期末試験の講評や独自の授業評価アンケートを実施するなど教育の改善を常に行い、学生をきめ細かく支援しています。

<国立大学>

神戸大学

法科大学院進学プログラム（法曹コース）

- 所在地 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
- 問合せ先 神戸大学法学部教務グループ TEL:078-803-7234
Mail:law-kyomu-gakubu@office.kobe-u.ac.jp
- Web http://www.law.kobe-u.ac.jp/undergraduate/admissions/legal_profession.html
- コースの定員 1学年 40名程度（2022年度）
- 連携先の法科大学院 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻

法科大学院へのシームレスな橋渡し、手厚い学修・進路サポート

特徴

学部3年次早期卒業から法科大学院に進学する3+2はもちろん、通常通り学部を4年で卒業して法科大学院に進学する4+2にも対応できるように、カリキュラムを組んでいます。大教室の授業で基礎力を固め、少人数の応用法律科目で事例演習や文書作成演習を行います。教授陣のほとんどは法科大学院でも授業を担当しており、法学部から法科大学院への橋渡しを意識して授業を行っています。

各種取り組み

法曹コース登録者には法律基本科目7法の勉強方法とおすすめの基本書を掲載した「学習の手引き」を配布するとともに、法曹コース担当教員によるガイダンスや法曹コース修了者による勉強方法相談会を実施し、学修サポートを行っています。弁護士による授業を開講したり、修了者による自主企画や検察官による出前授業などを随時開催したりするなど、進路選択に関する情報も提供しています。

<国立大学>

広島大学

法曹養成プログラム

- 所在地 〒730-0053 広島県広島市中区東千田町1-1-89
- 問合せ先 東広島地区運営支援部 東千田地区支援室
TEL:082-542-7071
Mail:senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
- Web https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/program/syusenkou/haipuro_hou/legalprofessiontrainingcourse
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数10名）（2022年度）
- 連携先の法科大学院 広島大学大学院 人間社会科学研究科実務法学専攻

人文社会科学系の新たな拠点で法曹養成教育の質を高めます

特徴

学修相談・支援、及び個別指導を担当するチューター教員を複数名（法曹コースを置く学部から1名、連携法科大学院から1名）配置する体制をとっています。連携法科大学院の教員や、弁護士、司法書士、及び行政機関での実務家、または実務経験を有する者が担当する科目を多く開講し、学修と実社会での活躍の接続性を持たせ、学びの動機付け、理由付けにつながるものとしています。

各種取り組み

連携法科大学院との連携強化、学生と企業・行政との交流促進を図るため、「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として連携法科大学院のある東千田キャンパス（広島市）の整備を進めており、法曹コースを置く法学部法学科昼間コースを東広島キャンパス（東広島市）から東千田キャンパス（広島市）に移転する計画となっています（令和5年3月末完了予定）。

<国立大学>

九州大学

法科大学院連携プログラム

- 所在地 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
- 問合せ先 人文社会科学系事務部 学務課・法学担当
TEL:092-802-6367
Mail:jbkkyomu2la@jimu.kyushu-u.ac.jp
- Web <https://www.law.kyushu-u.ac.jp/>
- コースの定員 1学年 30名
(2022年度)
- 連携先の法科大学院 九州大学大学院法務学府 実務法学専攻

九州大学法科大学院と連携

特徴

九州大学法学部の専攻教育は2年生から本格的に行われます(1年生の後期にも少しだけあります)。法曹コース(法科大学院連携プログラム)への登録は2年生の前期終了時ですので、法学の学習を少し経験した段階で登録するか否かを考えることができます。学部で優秀な成績を修め、いずれかの法科大学院の特別選抜に合格した人を対象とした、3年間で学部を卒業できる制度もあります。

各種取り組み

法学部の取り組みとして、1年生向けに、弁護士・裁判官・検察官の方のお話をうかがったり、模擬裁判を経験したりできる企画が用意されています。連携先の九州大学法科大学院の教員が交替で行う、法曹コース生を対象としたゼミもあります。また、九州大学法科大学院の授業を受講したりすることで、同法科大学院に進学する人たちが実質的に単位を先取りすることができる制度もあります。

<私立大学>

福岡大学

法曹連携基礎クラス

- 所在地 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8-19-1
- 問合せ先 福岡大学教務二課
TEL:092-871-6631
Mail:hogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp
- Web <https://www.law.fukuoka-u.ac.jp/about/jj/>
- コースの定員 各学年 10名
(2022年度)
- 連携先の法科大学院 福岡大学大学院法曹実務研究科 法務専攻

強い気持ちを持って、法曹へ

特徴

法学部生が、本学法科大学院での授業を体験したり、授業の様子を見たりする機会を増やすようになっています。法学部生のうちから、法科大学院での教育に接することによって、学部入学から最短5年で司法試験合格しようとする意識を強く持ってほしいと思っています。

各種取り組み

本学法科大学院教員が法曹クラス学生の複数の授業を担当し、法科大学院レベルの授業を実施するようになっています。また、法科大学院の授業科目早期履修制度のほか、法科大学院の授業体験の制度があります。法学部で不明な点がある場合、必要に応じて詳細を本学法科大学院に確認でき、法学部と本学法科大学院とで連携しています。

<私立大学>

西南学院大学

法務コース

- 所在地 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
- 問合せ先 西南学院大学教育支援部教務課
TEL:092-823-3273
Mail:lcm-sw@seinan-gu.ac.jp
- Web <http://www.seinan-gu.ac.jp/law/outline/legaldepartment.html>
- コースの定員 30名
(2022年度)
- 連携先の法科大学院 九州大学大学院法務学府 実務法学専攻、学習院大学大学院法務研究科 法務専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻、早稲田大学大学院法務研究科 法務専攻、同志社大学大学院司法研究科 法務専攻

法的文書(答案)作成能力の育成を中心とした少人数教育

特徴

法科大学院への進学を希望する学生だけでなく、公務員志望の学生や民間企業への就職を希望する学生などを含めた法律学学習に意欲ある学生全般を受けて入れています。また、担当する教員は法科大学院において法曹養成教育に携わっていた者も多く、コースに所属する学生が法科大学院へ進学後に学習をスムーズに進められるよう、工夫した授業を行っています。

各種取り組み

基本六法を中心とした法律基本科目について、事例問題の検討・解説等を行い、授業後に学生から提出された答案を担当教員が添削するなど、法的文書(答案)作成能力の向上を目指す授業を設置しています。また、法務コース運営委員を務める教員2名による所属学生に対するアンケート調査・個別面談を通じて、所属学生の進路に応じたアドバイスや必要に応じた個別指導等を行っています。

<国立大学>

熊本大学

法学部法学科アドバンスト・リーダー・コース(法学特修クラス)法曹プログラム

- 所在地 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1
- 問合せ先 人社・教育系事務課法学部教務担当
TEL:096-342-2319
Mail:jsj-hogaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- Web <https://www.law.kumamoto-u.ac.jp/topics/2019/01/post-157.php>
- コースの定員 20名
(2022年度)
- 連携先の法科大学院 神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻、九州大学大学院法務学府 実務法学専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻、早稲田大学大学院法務研究科 法務専攻

マイペースに実力を養成できる安心カリキュラムと充実サポート

特徴

連携法科大学院とともに行う法曹養成のための一貫教育を、法学特修クラス内に「法曹プログラム」(法曹コース)として設置しています。同プログラムは2年次から開始し、少人数での法律文書作成、弁護士事務所へのインターンシップ等、特別なカリキュラムを設定しています。なお、法曹プログラムへの所属方法としては、入学時から所属する方法と入学後のコース変更による方法があります。

各種取り組み

法曹プログラムの学生は、所属要件や早期卒業要件について、高いハードルが課されています。このため、法曹プログラムの担当教員が、各学生の学修状況や進路動向等を把握し、適切かつきめ細やかな履修指導等ができる仕組みを設けています。また、法科大学院への進学に高い意欲を持った学生が自主的にゼミを行い、お互いに研鑽を積むことができるよう、授業外での学習支援も行っています。

<国立大学>

鹿児島大学

法曹養成連携プログラム

- 所在地 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-30
- 問合せ先 鹿児島大学法文学部学生係
TEL:099-285-7525
Mail:hgakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp
- Web https://kadai-houbun.jp/houkei-2/hougakucourse-2/legal_profession/
- コースの定員 定員なし（2022年度3年次法曹コース在籍学生数3名）
（2022年度）
- 連携先の法科大学院 千葉大学大学院専門法務研究科 法務専攻、神戸大学大学院法学研究科 実務法律専攻、九州大学大学院法務学府 実務法学専攻、中央大学大学院法務研究科 法務専攻

地方から法曹を目指す！ 少人数を対象とする充実した学修指導

特徴

地方と呼ばれる地域で学ぶ学生を法曹の道へと導くため、豊富な実績のある4つの法科大学院と連携したプログラムによって、地域に貢献する法律家に必要なスキルとマインドを養います。全国でも最小規模の法曹コースであり、学生が少人数のため教員と学生の距離が近いのが特徴です。ひとりひとりの学生の状況を把握しながら、法律基本7科目の基礎はもちろんのこと、答案添削や個別の学修相談なども含めたきめ細かな指導を実現しています。

各種取り組み

法律基本7科目を3年前期までに徹底的に学びつつ、2年後期・3年前期に履修する「キャリア形成演習(法職入門A・B)」で応用的な思考力・表現力と文書作成能力を鍛えます。また、「実践演習(模擬裁判)」などの臨床教育科目を開講しています。さらに、連携協定を結ぶ法科大学院の先生方や各地で活躍する実務家の先生方の特別講義や講演により、法科大学院での学び、司法試験への取り組み、法曹の仕事を理解することができます。

令和4年度「先導的大学改革推進委託事業」法科大学院等の教育の充実に関する調査研究（令和5年3月）

文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houka/houka.htm

株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター
「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」事務局
<https://www.brainacademy.co.jp/>